

## もつと練習を積んで 心に残る民謡を歌いたい

おやまくみこ  
小山久美子さん 本名・藤田久美子 松崎町 50歳



大観衆が見詰める中、名曲『外山節』を堂々と歌い上げる小山久美子さん

曲の持つ素朴さ、岩手らしさが現れた伸びのある歌声は、すべての人の心をつかんだ。十月十九日、東京・両国国技館で行われた、二〇〇八年度民謡民舞全国大会に初出場した小山久美子さん。本市出身の武田忠一郎（二八九二―一九七〇）が採譜した『外山節』を、情緒たっぷりに歌い上げ、最高賞の「浦本杯」を手にした。

民謡を始めたのは十四歳のとき。母親から「着物を買ってあげるよ」といわれ、二つ返事で上郷町の菊池信夫師（71）に入門した。もともと歌が大好きだった小山さんは、民謡の持つ温かさや奥深さに触れ、次第に魅了されていった。一つの曲を歌いこなすようになるまで、およそ六年はかかるという民謡。ここ十年は『外山節』を、毎日何度も歌い続けた。

「全国の舞台で楽しく歌えれば満足」と望んだ大会。本番直前に菊池師匠から、「外山節の良さを素直に歌え」とアドバイスが送られた。六千人の大観衆を前に、上がることなく、持てる力をすべて出し、歌い上げた小山さん。「本当の外山節をありがとう」。表彰式で審査員から送られたこの言葉に、胸が熱くなったという。

「もつと練習を積んで、みんなの心に残るような民謡を歌いたい」と夢を追い続ける小山さん。伸びやかな歌声は、今日も響きわたる。



2008.12  
No.42

●目次

- 02 風の人  
小山久美子さん
- 03 [特集]田舎のチカラ
- 12 市からのお知らせ  
秋の叙勲・褒章者紹介／県民の交通安全功勞者表彰／県教育功勞者表彰 ほか
- 14 ニュース&トピックス  
県の「食の匠」に2人が認定／バタカラ全国国保地域医療学会で優秀賞 ほか
- 15 スポーツ結果  
平成20年度秋季陸上競技会／第30回少年空手道選手権大会 ほか
- 16 学びのいずみ  
赤羽根スキー場オープン(予定)／博物館講座受講生募集／A・E・L音工房クリスマスコンサート／おすすめしたい本 ほか
- 18 まちの話題  
パースデーフォーラム開催／佐々木仁右工門さんが100歳／青笹中学生徒が販売会を実施／遠野風の丘で記念式典開催／東北方面震災対処訓練実施／地域トピックス(青笹町・上郷町)
- 20 ふれあい広場  
わが家のアイドル／大きくなったら何になりたい？／サークルクラブ紹介／青春のトーク／ともに歩んで半世紀
- 22 市からのお知らせ  
公金の不適切な取り扱いについて／税の説明会の開催／市長ひとこと ほか
- 24 おしらせ
- 26 保健福祉情報館  
休日救急診療当番医／移動献血車／わらすっこだより／おめでた／おくやみ など
- 27 市民カレンダー
- 28 遠野遺産  
妻の神の石碑群



◎表紙の写真

昔ながらの里山暮らしを体験できる附馬牛町の「遠野ふるさと村」。温かい日の光が差しこむ曲り家の縁側では、まぶりつとの新田益子さん(73)がお手玉遊びを披露し、訪れた観光客との会話を楽しんでいました。

特集

# 田舎のチカラ

日本の農山漁村は今、少子高齢化や若者の都市への流出に伴う人口減少で、「過疎」という現実に向直している。子どもたちの笑い声が絶えない遠野らしいふるさとを残すため、今、わたしたちは何を考え、何をしなければいけないのでしょうか。



「カッパがいるかもしれないぞ」。遠野の広大な自然の中で仲良く遊ぶ千田華光ちゃん(5つ)☺、哲巳ちゃん(3つ)☺、拓末君(6歳)＝小友町＝兄弟